

36 焼板（焼いてない板から） ～思い出残そう！板に描いて（野外活動として）～		適 期	通年
主なねらい ◎自然素材で創作を楽しむ		所要時間	半日
		対 象	小学校低学年～
準備物	学校・団体	自然の家	
	○団体 ぞうきん、ガスバーナーまたは薪(食堂購入) 【食堂注文】 板、カラーテックス（専用絵の具） ※カラーテックスの代わりに、団体に絵の具やペイントマーカー（ポスカ等）を用意されても結構です。その際には、筆等も用意してください。 ○個人 えんぴつ（下書き用）、軍手、新聞紙	きり、火ばさみ、缶かまど（ハーフドラム） ワイヤブラシ、ガスバーナーの口、はさみ（のこぎり） 	
		焼いてない板（食堂注文）	



缶かまどで板を焼きます



ガスバーナーで焼きます

1 作り方

(1) 板の加工

- ・焼いてない板を、どのように仕上げるか考えます。
(のこぎりや彫刻刀等で切ったり彫ったりすることもできます)

(2) 板を焼く

- ・缶かまどやハーフドラム缶に火を入れ、鉄の渡しの上で焼きます。
(野外炊事と関連して作業することも可能です)
- ・板の周囲が黒っぽくなるまで焼きますが、どのくらいまで焼くかは、自分の好みでかまいません。全部燃やさないように気を付けましょう。
- ・ガスバーナーを使って焼くこともできます。その場合はガスを購入してください。バーナーの口は自然の家で貸し出します。(数に限りがあります。相談してください。)

(3) 板をみがく

- ・ワイヤブラシで、炭の部分をきれいに落とします。
- ・ワイヤブラシを使うときは、力を入れ過ぎないように。
- ・ぞうきんで炭をふき取りながら、みがきをかけます。（炭おとしは屋外で）

(4) 絵をかく

- ・はさみで、カラーテックスの先を太くならないように切り取ります。
- ・自分の考えたことをおもいつき線がきで描きましょう。

(5) 完成

- ・カラーテックスがかわいたら、ヒートン（ひもつけ用金具）とひもをつければ完成です。
- ※絵の他に、日付・クラス・氏名など、記念になるようなものを記入しましょう。
- ※カラーテックスが乾くには時間がかかります。

36 焼板（焼いてある板から） ～思い出残そう！板に描いて（館内活動でも可能）～		適 期	通年
主なねらい ◎自然素材で創作を楽しむ		所要時間	半日
		対 象	小学校低学年～
準備物	学校・団体	自然の家	
	○団体 ぞうきん 【食堂注文】 板、カラーテックス（専用絵の具） ※カラーテックスの代わりに、団地で絵の具やペイントマーカー（ポスカ等）を用意されても結構です。その際には、筆等も用意してください。 ○個人 えんぴつ（下書き用）、軍手、新聞紙	ワイヤーブラシ	

1 作り方

(1) 板をみがく・・・雨天時でも原則として館外の雨のかからない場所です。

- ・ワイヤーブラシで、炭の部分のをきれいに落とします。
- ・ワイヤーブラシは、力を入れ過ぎないように。
- ・ぞうきんで炭をふき取りながら、みがきをかけます。
- ※この段階でヒートン（金具）をつけ、ひもを通してよい。



ワイヤーブラシでの炭落とし

(2) 下絵を描く

- ※あとが残らないように、鉛筆で軽くかきます。
- ・下絵を描くか、描かないかは自由。
- ・木目を生かしながら下絵を考えると、おもしろい作品ができます。



カラーテックスでの絵描き

(3) 絵を描く

- ・はさみで、カラーテックスの先を、太くならないように切り取ります。
- ・チューブを軽くおさえながら、線がきで描いていきます。

(4) 完成

- ・カラーテックスがかわいたら、ヒートン（ひもつけ用金具）とひもをつければ完成です。

※絵の他に、日付・クラス・氏名など、記念になるようなものを記入しましょう。

※カラーテックスが乾くには時間がかかります。1日は動かさずに置いておきましょう。



完成品

詳細はホームページ参照